

自立支援型介護予防通所介護事業所認定指標

様式2		
事業所名	実施日	令和年月日
項目	結果	着眼点
1. 介護保険制度の理解		
直近の集団指導を受けている。	受けている・受けていない	
総合事業開始後、事業所で行うサービスが、より「予防の強化」「多様性」「重度化防止」の理念に基づいたものとなっていなければならないことを理解している。	している・していない	理念を理解して、工夫しているところ など
紀の川市の地域資源を把握している。	している・していない	体操拠点を知っているかなど
2. 人員配置		
利用者に応じた人員配置をしている。	している・していない	必要な職種の配置、定員に対する介護職員数など、人員基準を満たしているか
3. 研修		
自立支援型サービス提供にあたり、職員研修を実施した。	した・していない	自立支援型事業所の認定にあたり、職員に必要な研修を行ったかどうか
4. サービス		
市指定様式で、利用者の状態を個別に把握できている(予定も含む)。	できている・できていない	様式の活用をしているかなど
市指定様式で、すべての職員に目標達成へのサービス計画が共有されている(予定も含む)。	している・していない	様式の活用をしているかなど
利用者のその日の体調を把握している。	している・していない	利用時の聞き取り状況 など
スタッフ全員が持病や人工関節などリスクのある心身状況を把握できている。	できている・できていない	どのように情報共有しているか など
5. 評価の実施状況		
運動・栄養・口腔に関する評価をしている。	している・していない	評価指標の確認
地域活動への参加や趣味、仕事への参加などを促しているもしくはその準備がある。	できている・できていない	
評価結果から食生活(栄養)や口腔機能(口腔ケア)など、運動以外のアドバイスもできている。	できている・できていない	
6. その他		
自宅でのトレーニング用のカレンダー等の発行をしている。	している・していない	
カレンダー等の定期的な回収をしている。	している・していない	
		担当者氏名: